

開催日時： 令和5年6月1日（木） 13時30分～15時30分

主な意見：

- ・文化立県に向けて、文化振興条例への文化観光に関する肉付けや、文化振興基金の助成対象の拡大、積み増しが必要ではないか。
- ・今後とも、世界的に高いレベルにある石川県の文化を充実させていくことで、世界の石川県という位置付けを獲得できるのではないか。
- ・石川県において、全国のモデルとなるような部活動の地域移行や地域連携の取組ができれば、石川県が全国からアスリートが集まるような地域となるのではないか。
- ・大集客交流圏である石川県においては、県内産の食材を県内の集客交流都市で消費することが、農家の所得向上につながり、農業振興に資する。
- ・ユネスコ世界ジオパークに先般認定された白山手取川ジオパークに関する取組についても盛り込むべき。
- ・NPO法人に限らず、公益的な活動を担う団体や、人と人との支え合いを担うようなボランティアを発掘・育成・支援していく必要があるのではないか。
- ・デジタル化というと、システムなどハード面の整備ばかりに偏りがちだが、ネットワークこそデジタルの強みであり、分野ごとの取組だけでなく、横断的な取組が必要。
- ・「オール石川」ということで、能登、加賀、金沢の各地域が連携、交流し、お互いにそれぞれの強みを高め合っていけるような仕掛けがあるとよいのではないか。
- ・10年間の計画期間中であっても、社会情勢の変化に応じて、随時、見直しを行えるようにする必要があるのではないか。